

令和2年6月23日

加茂市立小・中学校児童生徒の保護者 様

加茂市教育委員会教育長
加茂市福祉事務所長

加茂市立中学校の部活動ならびに児童館の対応について

梅雨の候、保護者様におかれましては、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。平素は、当市小・中学校の教育活動にご理解ご協力を賜り、誠にありがとうございます。さて、標記の件について加茂市コロナウイルス対策本部で協議した結果、下記のとおりとしましたのでお知らせします。

加茂市内では新たな感染者が発生していない状況ですが、保護者の皆様には、感染症拡大防止の対応へのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

記

1 加茂市立中学校の部活動について

- (1) 令和2年6月26日（金）より、平日および休日（土・日曜日）の部活動を可とします。
- (2) 平日1日以上、週休日（土・日曜日）等1日以上のおよび2日以上の休養日を設けることを原則とします。
- (3) 感染症拡大防止の観点から、6月中の対外試合等を中止します。
- (4) 新型コロナウイルス感染症に関しては、日々状況が変化しているため、国や県の方針ならびに新型コロナウイルス感染症の感染状況等に大きな変化があった場合には、変更をする場合があります。

2 児童館について

- (1) 緊急事態として開設していた児童館については、令和2年6月22日（月）より通常通り開設しています。
- (2) ご家庭で十分ご相談した上で、やむを得ない事情で児童館利用を考えている場合には、加茂市福祉事務所にご相談ください。

3 「新しい生活様式」の実践例

- 新型コロナウイルス感染症専門家会議からの提言（令和2年5月4日）を踏まえ、新型コロナウイルスを想定した「新しい生活様式」の実践例が示されました。ご自身や、周りの方、そして、地域を感染拡大から守るため、それぞれの日常生活において、ご自身の生活に合った「新しい生活様式」を実践していただければ幸いです。裏面をご覧ください。

4 その他

- 学校教育や児童館に関するお問い合わせは、各担当までお願いします。

＜担 当＞

学校教育：加茂市教育委員会学校教育課 北原
児童館：加茂市福祉事務所児童障害係 靱山
電話 0256-52-0080（代）

裏面もあります

「新しい生活様式」の実践例

(1) 一人ひとりの基本的感染対策

感染防止の3つの基本：①身体的距離の確保、②マスクの着用、③手洗い

- 人との間隔は、**できるだけ2m（最低1m）**空ける。
 - 会話をする際は、可能な限り**真正面を避ける**。
 - 外出時や屋内でも会話をするとき、**人との間隔が十分とれない場合は、症状がなくてもマスクを着用する**。ただし、**夏場は、熱中症に十分注意する**。
 - 家に帰ったらまず**手や顔を洗う**。
人混みの多い場所に行った後は、できるだけすぐに着替える、シャワーを浴びる。
 - 手洗いは30秒程度かけて水と石けんで丁寧に洗う**（手指消毒薬の使用も可）。
- ※ 高齢者や持病のあるような重症化リスクの高い人と会う際には、体調管理をより厳重にする。

移動に関する感染対策

- 感染が流行している地域からの移動、感染が流行している地域への移動は控える。
- 発症したときのため、誰とどこで会ったかをメモにする。接触確認アプリの活用も。
- 地域の感染状況に注意する。

(2) 日常生活を営む上での基本的生活様式

- まめに**手洗い・手指消毒** 咳エチケットの徹底
- こまめに換気（エアコン併用で室温を28℃以下に） 身体的距離の確保
- 「**3密**」の回避（**密集、密接、密閉**）
- 一人ひとりの健康状態に応じた運動や食事、禁煙等、適切な生活習慣の理解・実行
- 毎朝の体温測定、健康チェック。発熱又は風邪の症状がある場合はムリせず自宅で療養



(3) 日常生活の各場面別の生活様式

買い物

- 通販も利用
- 1人または少人数ですいた時間に
- 電子決済の利用
- 計画をたてて素早く済ます
- サンプルなど展示品への接触は控えめに
- レジに並ぶときは、前後にスペース

公共交通機関の利用

- 会話は控えめに
- 混んでいる時間帯は避けて
- 徒歩や自転車利用も併用する

娯楽、スポーツ等

- 公園はすいた時間、場所を選ぶ
- 筋トレやヨガは、十分に人との間隔を
もしくは自宅で動画を活用
- ジョギングは少人数で
- すれ違うときは距離をとるマナー
- 予約制を利用してゆったりと
- 狭い部屋での長居は無用
- 歌や応援は、十分な距離かオンライン

食事

- 持ち帰りや出前、デリバリーも
- 屋外空間で気持ちよく
- 大皿は避けて、料理は個々に
- 対面ではなく横並びで座ろう
- 料理に集中、おしゃべりは控えめに
- お酌、グラスやお猪口の回し飲みは避けて

イベント等への参加

- 接触確認アプリの活用を
- 発熱や風邪の症状がある場合は参加しない

(4) 働き方の新しいスタイル

- テレワークやローテーション勤務 時差通勤でゆったりと オフィスはひろびろと
- 会議はオンライン 対面での打合せは換気とマスク

※ 業種ごとの感染拡大予防ガイドラインは、関係団体が別途作成